

野球部特集

幾竹裕之先生インタビュー



期日 令和7年9月24日(水)
場所 本校研修室



Q 試合中に選手や監督が笑顔でプレーする姿が印象的でした。
A それは皆さんからもよく言われました。ベスト8を決めた試合のタイプで、最初のバッターが2球続けてバントを失敗した時も、選手も私も笑顔でした。ピンチの時こそ笑顔です。あの場面でニコニコしてプレーしたことで、フォアボールを選ぶことができ、結果的に勝利につながりました。監督は選手を萎縮させてはいけません。そうやって、自主性自立性は育ちません。初球から

この夏の全国高校野球選手権福岡大会を最後に、本校野球部を長年率いてこられた幾竹先生が監督を引退されました。生徒たちを温かく、時に厳しく指導し、生徒の成長と数々の感動を与えてくださった先生に、これまでの歩みと今の思いを伺いました。



打ちに行つて凡退しても全然問題ないんです。むしろ追い込まれるよりずっと良い。選手たちには思い切つてプレーするようになってほしいと思っています。
Q 24年間を振り返って印象に残る出来事などお聞かせください。
A 目標設定で生徒たちは変わるということです。本校野球部は春、秋の大会で5年間勝利が無く、夏の大会に至っては7年間校歌を歌っていない状況でした。部員も12人で、新入部員5人のうち野球経験者は2人しかいない中、八女地区の大会でもほぼ全敗でした。正月の初練習の時に、生徒と一緒に「春の大会ではどんな相手が来ても1勝するぞ」という目標を立てて練習に打ち込んだのですが、大会初戦の相手に部員40人を抱える強豪の筑紫丘高校を引き当てしまったのです。我が校は10数人ですが、スタンドには誰もいませんが、相手は20人以上が陣取っています。試合前のノックを見てももの凄くうまいのです。うちの生徒たちはそれを一切見ずに集中して試合に臨み、格上相手でしたが目標通り完璧な勝ちを収めました。5年ぶりの勝利は、生徒たちに「自分たちの思いひとつで変わるんだ」という意識をもたらしました。選手たちは「今度は夏の大会で7年ぶりに校歌を歌うぞ」という目標を立てて、見事に校歌を歌



うことができました。それが最初の出来事で、今につながるスタートとなりました。
Q 幾竹先生が、監督をめぐしたきっかけを教えてください。
A 中学では軟式を、高校では朝倉高校で甲子園をめざして野球をやっていました。しかし、高校に野球専門の先生、監督がいなかったため、キャプテンが中心となって練習をしていました。夏の4回戦で強豪校相手に延長12回で敗れたとき、指導者がいればもっと上に行けたのではないかと、自分が指導者になって次は自分が指導者になつて頑張りたい、と思ったのがきっかけです。日体大へ進学して野球を続けながら高校教師をめざしました。

強くなるため、試合に勝つための特別な取り組みがあれば教えてください。
A 就任して3年目ぐらいに、メンタルの強化の

ためにメンタルトレーニングを導入しました。座学は生徒になかなか入ってこないのですが、様々なスポーツシーンを集めて映像を見ながら具体的な話をしていきます。実際のプロ野球やオリンピック競技などのシーンを取り上げて、ここまでのようにしたから力を発揮することができたのか、リラックスするためはどうしているのか等を学ぶのです。2日間やるのですが、生徒のグラウンドでの動きが劇的に変わりました。例えばサイキアップで「さあ、やるぞ」とやる気を高めて、プレーにつながる事ができるようになりました。練習メニューも毎日変えて、飽きさせない工夫をしています。

また、「新しい健康理論を実践しています。食事、運動、睡眠などを総合的に改善することでアスリートとして「勝てる体づくり」を行うというものです。生徒たちは、食事の改善によって、疲れない、怪我をしない体をつくる「食トレ」に取り組んでいます。実際に3年たったら私立の強豪校の選手に負けない体つきになってきますし、猛暑の試合でもバテたり足がつったりする生徒もいなくなりました。

Q 幾竹先生の取り組みは、大きな教育効果につながっていますね。
A 生徒たちが純粋で指導が素直に入っていました。新入生は、野球実績が無い生徒がほとんどです。1年生の時は生徒も保護者も、何で先輩たちは「甲子園、甲子園」と言っているのだという感じですが、しかし、だんだんその先輩たちの意識が伝わり、気持ちが変わればやれると思えるようになってきます。自主練習もしっかり取り組み、後片付けやトンボかけなどのグラウンド整備等も下級生任せではなく、全員で取り組んでいます。体力の無い新入部員は先に帰宅させるなどしています。上級生になるほど上手くなりたくて自ら残って練習するから伸びるのだと思います。

Q 精神面や体力面の向上は野球以外でも大きな力となりますね。
A 生徒たちが部活引退後保護者やOBの皆さんのご

Q 練習環境の面はいかがですか。
A 本校の練習環境は素晴らしい。グラウンドが広く、バッティングケージを4台も置くことが出来る。打撃練習をしっかりとやる事が出来ます。定時制があるおかげでナイター設備が整っており、それを使わせていただくことで、生徒たちの練習時間を十分確保させていただいています。保護者やOBの皆さんのご

